補助組織の役割が世界指導者訓練集会で強調される

アダム・G・オーソン、教会機関誌

伝統的な家族が攻撃にさらされている世の中にあって、教会の補助組織は家族がその一人一人をキリストに導くのを支援するために存在しています。地元指導者たちは、2004年1月10日に開催された教会の第3回世界指導者訓練集会で、そう教えられた。

ゴールド・B・ヒンクレー大統領およびジェームズ・E・ファウスト第二副統領は、家族の重要性について強調し、今の時代に家族が存続するうえで骨倉となるものについて警告した。

「言うまでもないんですが、現在、世界は歴史上きわめて困難な時期を迎えています。至る所で道徳的標準が低下しています。……伝統的な家族の在り方が激しい攻撃にさらされています。……わたしたちは教会にあって、悪の潮流を止めるために一生懸命働いています」とヒンクレー大統領は述べた。

ファウスト副統領は、結婚の引き延ばし同様、離婚、婚外出産の世界的な増加を示す統計を引用した。統計では子供を軽視する傾向も指摘された。世界的に見て、すべての宗教のうち25パーセント以上が墮胎をしている。

「今日の家族は数多くの大きなチャレンジに直面しています。あらゆる防御機能をわたしたちの家族関係に張り巡らす必要があります」とファウスト副統領は教えた。補助組織と神様組織は、家族がこの世の悪に立ち向かう個人を強める支援をするために存在している。

補助組織と神様組織

教会の役割や機能では、教会の補助組織の目的と役割、揺れ動く、および神様組織とのどのような関係にあるかについて強調された。

「教会の補助組織の基本的な役割と目的は、イエス・キリストと福音に対する証を植え付け、養うことです。」

十二使徒定座会のリチャード・G・スコット長老はそう述べた。

1月に行われた世界指導者訓練集会に参加した大統領、十二使徒定座会ならびに中央助協会、中央若き女性、中央初等協会の会長会
スコット長老は、神職組織の指示の下に補助組織がどのように働けばよいかを説明し、証を築くうえで初等協会の助けが家族に取って代わることのないようにと警告した。また補助組織の指導者は御家主の指導を信頼するために指示した。

ボニー・D・バーキン中央扶助協会会長、スーザン・W・タナー中央若い女性会長およびコリン・K・メンプス中央初等協会会長は、スコット長老の指導を支持した。「わたしたちの使命は、すべての人をキリストのみとに連れて来ることです」とバーキン妹は語った。ビデオによるデモンストレーションと説明を用いた彼女の第1プレンゼンテーションでは、神職組織と補助組織の指導者がどのようにして一緒に働くべきか、また補助組織の会長の会合をいかに行うべきかということが具体的な説明がなされた。

フィリピンから話をした十二使徒会員のダリン・H・オークス長老は、補助組織の働きを見守るという神職指導者の役割について説明した。「補助組織で働くすべての人は彼女のを受け、神の王国で人々を導くための能力を必要となります。……補助組織を管理する神職役員は、その働きを監督しなければなりません。」オークス長老は、神職組織と補助組織が一つになって働くためにするべきことについて示唆を挙げて指導した。

次回の世界指導者訓練集会の放送は、2004年6月19日に土曜日に予定されている。

世界中で進む
神殿建設

2004年1月11日に奉納された
ガーナ・アクラ神殿

ガーナ・アクラ神殿は、2003年12月3日から20日まで一般公開された後、2004年1月11日に開放日になった。ガーナ・B・ヒンクレー大統領により3回のセッションにわたって奉納された。奉納式には、マージリー・ヒンクレー会長、十二使徒会員のラッセル・M・ネルソン長老、七十六人がアフリカ西地域会長会のシェルドン・F・チャイルド、H・ロス・ワークマン、R・コンラッド・シェルツの各長老も出席した。

「この宮とその中で執り行われる儀式は、多くの聖職者がその心熱い祈りと懇願、奉仕と勤労に対する答えとして与えられました。聖職者はこの地に建つ聖なる神殿を通して祝福を受けられるでしょう。」奉納の祈りの中でヒンクレー大統領はこう述べた。「愛する父よ、この神聖な宮をお人の民が感謝を込めて贈る幾々物をお受けください。あなたの力強い御職により、雨がかかる自然の災害や人のあらゆる避難的な行いからこの宮をお守りください。この建物を見上げる人が皆、喜び思いをもってこれを主の宮としてあげますように。」

ヒンクレー大統領は、『デセレット・モーニング・ニュース』（Deseret Morning News）のインタビューに対して、ガーナ・アクラ神殿の奉納式で、多くの聖職者がその心熱い祈りと懇願を現実のものとする「西アフリカにおける新しい時代の幕開け」と称した。アフリカの歴史を含む、ヒンクレー大統長はガーナの聖職者が催した文化の祭典に出席し、ガーナ大統領のジョン・アジェクム・クフォー氏とも会談した。

アクラ神殿は、地元で産出される建材だけを使って建てられている。建物正面にはナミビア産みかげ石、床にはアフリカ礫産みかげ石が用いられている。2004年4月1日時点での儀式が行われている神殿は世界中に118所あり、さらに10の神殿が建設中、または建設が発表されている。今後は4月に、ニューヨーク州マンハッタン神殿の奉納式が予定されている。

ブラジル・サンパウロ神殿

南アメリカで最初に建てられたブラジル・サンパウロ神殿は、広範で且つ在地建設工事のため、最寄のカーペットや手作りの家具類、カーペット、手作りの工具類が配置され、窓には独特なガラス工芸が用いられている。最も広い部屋には80人分の席がある。ガーナに初めて宣教が入植したのは1978年である。

リカ産のみかげ石が使われ、壁の上部にはマゴレ材の装飾が施されている。また、模様を彫り込んだカーペットや手作りの家具類、手作りの工具類が配置され、窓には独特なガラス工芸が用いられている。最も広い部屋には80人分の席がある。ガーナに初めて宣教が入植したのは1978年である。
ぱらしいガラス細工が設置されている。

繊物からマホガニー材、みかげ石などに至るまで、今回の工事に使用された建材は90パーセントがブラジル産である。もともと神殿内に据えられていた調度品の多くは、南アメリカ最初のステーク会長、ウォルター・スパット兄弟が製作したものだが、この度再び直された。

2月21日に5万人を収容するバハエバンクスタジアムで催された特別祝賀会で、地元の末日聖徒たちは、音楽や演劇などを披露した。

ヒンクレー大管長の管理の下、奉仕のために一つのセッショングが開始されたが、その際は185か所あるブラジルのすべてのステークで放送された。ヒンクレー大管長は次のように祈った。「世界中のあなたの民のうえに、信仰をもってあなたの前に従従く歩むすべての人のうえに祝福を注いでください。天の恵を聞いて、ふるわれる恵みを注いでください。あなたの民を災いから救い、絶えず守ってください。また世界中を覆い尽くそうとしている罪悪の洪水から守りください。聖徒たちの心に喜びと平安をもたらし、それぞれの家庭が安全な場所となるようにしてください。」

ブラジルには、2000年に奉仕された二つの神殿、ボルトアレグレ神殿とレジシフェ神殿、さらに2002年に奉仕されたカンピーナス神殿がある。また同国クリティーバにも神殿建設の予定が発表されている。

アラスカ州アンカレジ神殿
2004年2月8日曜日に一つのセッションが開かれ、ヒンクレー大管長はアラスカ州アンカレジ神殿の再奉仕をした。同神殿は、632平方メートルから1,109平方メートルへと2倍近くも広くなった。

ヒンクレー大管長は奉仕の祈りの中でこう述べた。「この神殿地区に住む人々が神の聖なる霊に触れ、この美しい建物を活用して神の御心を成し遂げたいと強く願うようになりますように。神殿内に足踏み入れるとき、聖徒たちの心が喜びで満たされますように。神殿が彼らにとって世の難いや心配事から離れる安息の場となりますように。また忙しい生活から逃れる避難所となりますように。聖徒たちが神殿で奉仕するとき、霊的に高められて、あなたがお待ちの知識の光に照らされて、福音に対する理解の目が開けますように。」

一般の人々は、2004年1月27日から31日まで開催されたオープンハウスの期間中に神殿内を見学した。アンカレジ神殿は、1997年にヒンクレー大管長が発表した小規模神殿計画の下、手始めに建設された神殿の一つで、1999年に最初の奉仕が行われた。

同神殿は、合衆国アラスカ州にある7つのステークに所属する2万7,000人以上の会員と、カナダ北西部の一部部に住む会員が利用している。神殿の改築は2003年4月に着工したが、この工事によって儀式用の2番目の部屋、ラドリー、男性用、女性用それぞれの更衣室、衛生室、それに事務所のスペースが増設された。

地域の会員の必要に応じて拡張されたアラスカ・アンカレジ神殿

ヒンクレー大管長、カリブ海とカナダの聖徒たちを訪れる

ガーナ・アクラ神殿を奉仕する旅程の行きと帰りに、ゴードン・B・ヒンクレー大管長はカリブ海とカポベル
チャーチ・ニュース

サイクロン・太平洋の島々を襲う。
宣教師と教会員は全員無事
2004年1月5日。熱帯性のサイクロ
ン・ヘタがトンガの北東にある
太平洋の島、ニウエ島を直撃した。そ
の結果70棟の家屋が流され、1棟の病
院が全壊し、200人以上が家を去った。
ニウエ島の6人の宣教師と203人の教会
員は全員無事とのことである。会員の
うち、7家族の住宅が全壊し、アロフィ
村という小さな村では教会堂の窓が割
れたり浸水したりする被害を受けた。

教会員は協力し合ってアロフィ支部の
集会所から水をかき出したり瓦礫を片
付けたりした。20人が集会所に避難し
た。宣教師たちは緊急車両が通れるよ
うに、道路に散乱していた瓦礫を片付
けて回った。教会からの援助の必要性
を判断するために、ニュージーランドに
ある教会の太平洋諸島地域管理本部か
ら福祉チームがニウエに派遣された。

サイクロン・ヘタはトンガの北にある
島々にも打撃を与え、ニウアトプタ
プではある会員の家が全壊し、他の
何軒かでは屋根が吹き飛ばされた。
ニウアトプタプにあるバイボア支部の
集会所は、行く場を失った家族の一時
的な避難所となった。教会のトンガ・
サービスセンターは深刻な被害を受け

東マレーシアのクチンの青少年が集まり初めてユースカンファレンスが開かれた。

リアオナ／2004年6月号
た地域に救援物資を送った。これらの地域において教会員や宣教師の中には負傷者はいなかった。

西サモアのウボルにあるルアウスワードの集会所では、浸水と強風によって幾つかの教室と監督室が使われなくなり、多くの窓が割れた。合衆国領サモアのバゴバゴにある集会所は、倒れたコナツの木が屋根に当たったため、軽い被害を受けた。

東マレーシアで初めてのユースカンファレンスに10代の会員が集う

昨年12月、東マレーシア・クチン地方部の10代の会員約80人が初めてのユースカンファレンスに参加した。この地方部の青少年は今回のユースカンファレンスで催されたバラエティショーのために何か月もかけて準備をした。このショーでは歌や踊り、演劇を通じて、青少年の持つ文化的な根元が喜びを受け入れるのではいかに役立ったかが伝えられた。

これらの10代の聖者たちは、若い男性と若い女性のプログラムを取り入れることによって驚くべき個人的成長を経験している。「若いガールプログラムが紹介されたとき、若い女性たちは喜びの涙を流しました」と地方部若い女性会長のシャロン・ブリーズは語る。「彼女たちの個人的成長には目を見張るものがあります。」

東マレーシア・クチン地方部はマレーシア国内の教会を管理する4つの地方部のうちの一つである。

青少年、人道支援のために冬服の服を集める

エリザベス・リルジェンキスト
教会関係者

ユタ州北部とアイダホ州南東部に住む教会の青少年たちのグループは、約5万着の衣類を集め、寄付した。

ユタ州北ローガンのグリーンキャニオンステーク、北ローガン第2ワードのローレルであるサンドラ・カーティスは、モンゴルで専任宣教師として遠征中の兄から、モンゴルでは暖かい衣類が必要であることを知られ、助けたいと感じた。教会人道支援部門は、寄付されたものを特定の地域に送ることを保証できない。地域の必要性と神権指導者の要請に基づいて配分されることがになっている。

それでもサンドラと友人たちは衣類を寄付したいと思った。「セミナーの同じクラスの子たちは、やる気満々でした。特にクリスマスの季節だったこともあって、みんな大賛成でした。」

サンドラはそう語る。

このプロジェクトの話は近隣4つのセミナーのクラスに広まり、2週間のうちにユタ州北部、およびアイダホ州南東部のセミナーの生徒約3,000人が、コートや手袋、靴、靴下、ベルト、スーツ、セーターなど毛布を集めた。靴を騙れてできた生徒たちは、靴下や手袋を持ってきた生徒、自宅の押し入れから寄付するのにちょうどよい厚手の衣類を見つけた生徒たちもいた。

クリスマスの季節もたけないんだというのに、生徒たちは学校が冬休みになるまで熱心に衣類を集め続けた。冬休みが始まる前までに、ユタ州スミスフィールドにあるスカイビューセミナリーの建物の後のロビー、教会は、衣類でいっぱいになった。ユタ州ローグンにあるゼレート産業では、トレーラー約1台分の衣類を回収し、箱装した。

教会人道支援部門はソルトレーク・シティに施設を持っていて、寄付された衣類をすべてそこで集めて分類している。資源を無駄にしないよう、教会人道支援部門は世界中の神権指導者からの要請に基づいて必要とされる衣類を配分している。

中央カリフィルニア地震で教会員死亡

カリフィルニア州サン・ルイス・オビスポステーク、パノ・ロブレス第2ワードのマリリン・サウサム・ザフト姫妹（55歳）が、中央カリフィルニア地震により2003年12月22日に亡くなった。

ユタ州バーナル市出身で退職前は学校で教師をしていたザフト姫妹は、人口2万5,000人のパノ・ロブレス市内に
ある19世紀に建てられた時計台のある建物の瓦礫の中から、うるーるーの女性とともに発見された。同建物内の皆さんの店が壊れるとともに、建物の屋根が倒れ下して、多くの車が大破した。

マグニチュード6.5のこの地震は、パーソナルスポーツからヘッズジーのににある海沿いの町、ヴァンプリア付近を震源地とし、サンフランシスコからロサンゼルスにかけての地域に影響を及ぼした。ここ4年間で最も大きな地震であった。

カリフォルニア州ベンチュラ伝道部の部長ディビッド・J・ヘンダーソンは、宣教師は皆無事であったことと、最近のゾーン大会での地震の際に安全について教わったことを報告した。教会員の二家族は建物の被災のため、それぞれの家から立ち退いた。パーソナルスポーツとモント・ペイビルの二つの教会堂では、災害の修復が必要となった。

末日聖徒の兵士、待ち伏せ攻撃により殺害される

ステーブン・バートリノ合衆国陸軍二等軍曹は、2003年11月29日、イラクのハディーサで軍の護送車に乗っているところを待ち伏せ攻撃により殺害された。死亡したバートリノ兄弟は、カリフォルニア州サンディエゴエスステック・サウンドエプラ19軍の兵員で、妻と4人の子供がいる。バートリノ兄弟は葬儀の中で、名誉戦功章、青銅星章、勲徳記章を授けられた。

この訃報は、Church Newsから寄せられた。

教会歴史美術博物館、子供美術コンテストを開催

教会歴史美術博物館は、預言者ジョセフ・スミスの誕生200周年を記念する展覧会に向けて、4歳から12歳の末日聖徒の子供たちに自作の芸術作品の応募を呼びかけている。

「預言者に従う」をテーマにしたこの展覧会は、2004年12月10日から2005年10月16日にかけて開かれる。作品はアダムからゴードン・B・ヒンクリー大統領までのいずれかの預言者の生涯や教える、または絵画を示すものとする。

作品は、11インチ×14インチ（28センチ×35センチ）以内の平面構成の作品（注記—絵画、版画など、立体でないもの）とし、表現手段は自由となっている。子供の名前、年齢、住所、ワードまたは支部名を裏に記載すること。

全応募作品は教会歴史美術博物館の所有となり、返却はされない。子供の美術に道徳の深い審査員が展示作品を選ぶ。

応募締め切りは、2004年10月4日である。応募者は以下のあて先に郵送する。——Marjorie Conder, Curator; Museum of Church History and Art, 45 North West Temple Street, Salt Lake City, Utah 84150-3470, U.S.A.

これらの記録は、Church Newsから寄せられた。

ルーマニア語の新しい末日聖典合本が完成する

教会では、この度、ルーマニア語の新しい末日聖典合本を完成した。合本には、モルモン書、教義と約束、約束と約束の聖域ガイドと呼ばれる学習補助資料が収められている。

教会は、教会配送センターまたは地元の指導者から合本を入手することができる。ルーマニア語のモルモン書（改訂版）も新たに出版された。

大統領会は、個人や家族の定期的な研究、教会の集会や個々の奉仕をもってのための自分自身を聖化するよう勧め、地域の指導者へ送った手紙の中で次のよう約束した。「[会員が]祈りの持ちもって聖文を学び、そこから教えるなら、証は強まり、知識は増し、家族や人々への愛は大きくなるでしょう。また、人々に仕える能力は広がり、誘惑を拒み、真理と正義を擁護する大きなる力が与えられるでしょう。」
「分かち合いの時間のためのアイデア」追加分 2004年6月

以下は、初等会の指導者
が『リアホナ』2004年6月
号に掲載の「分かち合い
の時間」とともに使用できる「分かち
合いの時間のためのアイデア」追加分
である。これらのアイデアに対応する
レッスン、指示、活動は、本誌「フレ
ンド」4、5ページの「家と家庭」を
参照する。

1. 歌の発表——『家族』（『リアホナ』
2004年4月号「フレンド」11）歌詞を
4つに区切る。それぞれの言葉を1語ず
つ別々の紙に書く。子供たちをグルー
プに分け、グループごとに1区切り分
の音節を書かれた紙を渡す。その歌を
2、3回歌う間に、子供たちは歌詞を聞
きながら言葉を正しい順番に並べる。
グループごとに割り当てられた節を正
しい順番で歌う。各グループに別の節
を割り当て、もう一度歌う。

子供たちに自分の家族の写真を見せ
る。家族一人一人が大切であり、皆が
ともに働き、自分の役割を果たすとき
に、家族は幸せになることを説明す
る。一人の子供を部屋から出し、子供
たちが歌の内から歌わない言葉を一つ
選び、子供たちを部屋に戻し、皆の前
に立つように言う。その子供の頭上に、
選んだ言葉を書いた紙を掲げ、子供た
ちが歌わない言葉を指さないようにす
る。もう一度歌を歌い、立っている子
供に挙げている言葉を当てさせる。

2. 初等会会長の一員と音楽指導
者は協力して、子供たちに家族を強め
る方法を考えさせることができる。初
等会の手引きと『福音の視覚資料
セット』の絵を使って、家族に関する
6つの題材（例えば、家族の祈り、家
族の聖文研究、家庭の夕べ、周りの人
に手を差し伸べ、家族の一員、家族
の優しさなど）から同じ（またはそれ
に近い）絵を2枚ずつ選ぶ。絵の裏に
1－12まで番号を付ける。番号が付い
ている面が見えるよう絵を壁に貼るか
床に並べる。絵の題材に合う歌や讃美
歌を選ぶ。

一人の子供に絵を2枚めくらせ、合
う絵を見つけさせる。絵が合わなければ
ば、次の子供にめくらせる。絵が合っ
たら、その絵のテーマに関連する歌か
讃美歌を歌う。子供たちに歌の指揮を
させるか、歌を合う手まねを考えませ
てもよい。

『福音の視覚資料セット』616を見せ
子供たちにピンクレー大管長の「家族
と国の助けとなる4つの簡単な事情」
（絵の裏面で『リアホナ』1996年6月号。
2－9ページを参照）の話をする。子供
たちにこれら4つのことを自分の家族
に話すよう勧める。

預言者は、わたしたちが家族の一員
として重要な責任を持っていることを
教えている。預言者や指導者たちの生
涯から物語を分かち合う。N・エルド
ン・タナー第一副管長が次のように話
している。「ある日父は、……弟とわた
たしに用事を言いつけて出かけまし
た。わたしたちは父が教会の責任でし
ばらく戻って来ないと思っていたまし
た。しかし父は思ったよりも早く帰っ
て来て、わたしたちが子牛に乗って遊
んでいるところを見つきました。父が
わたしたちを呼び寄せ、わたしたして
とけの顔と言った言葉を決して忘れま
せんで。「おまえを信頼できると思って
いたのに。」あれは貴重な教訓であり、
わたしだにとっては厳しい罰でした。そ
のときわたしは、生きているかぎり、
父やほかのどれにもあのようなことを
再び言わせまいと決心したのです。」
（「天の父さまへの報告」「聖徒の道」
1980年2月号，21）

両親に従い、家族を助け、家族に親
切にするうえで、子供たちに与えられ
ている責任について話し合う（例えば、
妹に本を読むであげる、皿洗いを手伝
う、おもちゃを片付ける、ベッドを整
える、庭仕事をする、弟の面倒をみる、
床を掃く、扉にさえきをやる、文句を
言ったりすねたりしない、愛を示す、
感謝するなど）。

子供たちに、今話し合ったことを少
しでも覚えられるようにゲームをする
と伝える。子供たちは輪になって座る。
家族の写真を1枚見せて「家族の一員
であるわたしには、責任があります。
幸せな家族にするために、わたしは皿
洗いを手伝うことができます」と言う。
写真を子供に渡し、今言ったことをす
べて繰り返させる。子供は自分にでき
ることを一つ一つ加えてから写真を次
の子供に渡す。各々の子供が前に言わ
れたことを繰り返し、一つ一つのことを付
け加える。だれかが言葉を忘れると次の
絵を渡し続ける。忘れたときは、次の子供から
ゲームをもう一度始める。■
夫婦の
履歴書

できるものを、できるベースで。
仙台伝教部夫婦宣教師 — 柏倉 仁・朝子ご夫妻

上野 道男・
きみこご夫妻

夫婦宣教師
藤沢ステーク
大和ワード
日本福岡伝道部

宮下 阿佐夫・
久美子ご夫妻

夫婦宣教師
藤沢ステーク
札幌ワード
日本福岡伝道部

湯沼 誠二・
洋子ご夫妻

夫婦宣教師
札幌ステーク
札幌ワード
日本東京南伝道部

德留 清弘・
貴美子ご夫妻

*夫婦宣教師
鹿児島地方部
宮崎支部
日本福岡伝道部

安田 琢三・
道子ご夫妻

*夫婦宣教師
旭川ステーク
旭川第二ワード
日本札幌伝道部

阪本 慎彦・
修子ご夫妻

夫婦宣教師
奈良地方部
大和山間支部
日本福岡伝道部

ここ福島県いわき市の桜は東京に比べて10日ほど遅い。「いわきは東北のハニワに向けて言われるけど、やっぱり寒いね。いちばん寒いときでマイナス3.4度くらいになるし」と柏倉 仁長老は言う。太平洋に面しているので雪は少ないが、いつも風が強い。寒さは柏倉長老の血圧に良くない。ましてや朝子姉妹にとっては——。

柏倉ご夫妻がいわきに赴任したのは2003年2月の最も寒い時期だった。ほうとうは前年の夏に行かずにおり。赴任直前の8月末に朝子姉妹が突然の脳出血で倒れなくなった。——それは言語障害も起こし、懸命のリハビリの後も左半身に麻痺が残った。「もうこんなのはうまくいえそうだね、ゆっくりゆっくりしかできない……」ゆっくりであれば身の回りのことは自分でできるまでに回復した。しかし家事まではできない。朝子姉妹の指示に従い柏倉長老が手足となってこなす。料理は朝子との二人三脚である。「パンカン指示が飛んできますからわたしはただ機械のように作ってるだけです。伝道よりも料理の方が上達しました」と柏倉長老は笑う。

福島でゾーン大会が開かれる日5時半起き。食事と身支度をして家を出るまで1時間半かかる。帰宅して就寝するまで1時間。それでもゾーン大会は車で行くからだ。仙台伝教部の幹部書記に召された柏倉長老は電車に乗って地方部大会に行かなければならない。青森・秋田・新潟・盛岡それぞれへ2回ずつ夫婦で向かう。「注意事項がいろいろあって……」乗り継ぎの時間が間に合うか、それぞれの駅のエレベーターやエスカレーターの位置、トイレの位置、食事の場所の見当……。「どこかに食べに行くって言ってもだっとう歩いているわけじゃないからね。今まで当たり前のことがだめなんだよ。秋田では猛吹雪で駅の向こう側へ行くだけでもタクシーに乗らざるを得なかった。」それでも朝子姉妹にできることはあらゆる。柏倉長老が集会に出ている間、訪問先の地方部の人としっかり話すのである。「ときどきちょっと寂しい方がいらっしゃいますので。この間はね――80歳ごまめている方。若い方は車ですごく歩くの後手だからな、そこの方は車で困っているので教会まで1時間ちょっとかかかるところを顔頸で集めている。そういう方法ともお話しできるね。」朝子姉妹は少ないお忙しいと話す。麻痺が残っているのですにすらとはいかない。しかしありくらいと話聞くにはいい。

「姉妹だけで子供を育てて育てている兄、弟は単身赴任とか……」「みんなが何かの困難を抱えて生懸命頑張っているんだけれど。」「だから何とか激励して差し上げないと思いますね。」

若い宣教師たちを支えて
「いちばん近くに立っているのは若い宣教師たちを助けるということ」柏倉長老は言う。「夫婦宣教師というのは自分がパブリックスマートというよりは、若い宣教師を盛り立ててやったほうがいいと思います。」いわき支部の地域は広く、若い宣教師が自転車で囲むのはどうしても限界がある。そこで遠方のリーダーやリーダーのときには柏倉ご夫妻が車に乗せていく。彼らが安心して働きるように後方支援も欠かせない。病気
炭火のように

地方部の抱える困難はどこも似ている。神職が少なく責任で塩漬けである。相談者が声を掛けているが、案内の活用が実用ないうちに、結婚の問題、経済的な問題…。「取り出された炭のような感じですものね。燃える炭の中から一つ取り出してもおいたら、だんだんだんだんだ火が消える…。元の所に入れら宁夏燃料るだけでどれでしょう。」

「それと同じ感じなんですね。周りに同じような人がたくさんいれば、みんなで相乗りで頑張れるんだろうけれど…」

だからわたしはね、夫婦宣教師は地方
の、比較的人数の少ない支部に日本中
からたくさん出てきてもおらいないなあと思
う。そこで地元の人たちにいらっしゃ
って言えば…」「自分一人じゃないい
って思ったから、元気出して頑張ってく
れと思いますよ。」

ゆっくり、の効能

「一つそれぞれの理由があるのでし
ようけれど、人間関係で教会へ来られな
くなった方は多いのですね。そらとす
ぐに対処していればまだ大丈夫だった
のが、今じゃないかなと感じてこりこり
になっている。…（教会に来ないこと
だけではなく、様々な問題に対して）凝
り固まった気持ちがあるすると、それを解
きほぐすのはごく時間しかかかるправля
ね、それは簡単にはできないよ。だ
からそこで、時
間的に余裕のある
夫婦宣教師が
いると、何度で
もどこへ行っ
て、その方の気
持ちを聞いて
あげて、気持ちをはぐしてあげることが
できんじゃないかという思いますけど。
まあわたしたちだったら時間があります
のでね…」「同じ場所にずっといられ
るからね。」

通常、伝達期間を通じて一
つの住地にとどまる夫婦宣教師ならではの
息の長い取り組みである。

「若い宣教師たちは短期決戦だから、
チャレンジしてでもならすと、次へ行く。
しかし我々だったら、また気持ちが変わ
るかもしれないとじっくり長一向い気持ち
で待つことはできるんじゃないかと思
いますね。」

できるものを、精いっぱい

「模範になるような、そんな特別なこと
は何にもない、できることをやっているだ
けなので…」と淡々と話す柏倉夫妻。

「仕事の量から言うと普通の（夫婦）宣教師
の半分、二人で一人分の仕事ができ
ればいいって感じでしょう。やっていること
はほかの夫婦宣教師よりもぐっととレベル
が低いと思います…」「だから、精い
っぱい…」「うん、精いっぱい頑張った
って言えるだけですね。」

しかし働きの量だけでは測れないもの
が確かにある。ゆっくりなペース、じっくり
待てられるということを必要としている人々も
きっている。スロー・ライフが見直されて
いる昨今、こんなスロー・ミッションがあっ
てもいい。柏倉夫妻の持つ独特なリ
ズムとベースを見ていると、そんな思い
を強く感じる。北国の春は遅いけれど、
時が来れば一気に百花繚乱となる。

相撲関係はゆっくりながらも決して消
極的ではない。相撲長老はこう評する。

「いつも、今日は調子悪いからしゃべら
ないなんて言ってきても、終わったらば
どのくらいしゃべっているんだ。何だ
ったんだろうなあ、って。（笑）」

金沢寺

井上 亮一・ 稲子 ご夫妻

教育宣教師
我孫子ステーキ
築ヶ崎ワード
日本名古屋伝道部

藤原 豊雄・ 佳子 ご夫妻

夫婦宣教師
奈良地方部
名古屋支部
日本東京南伝道部

石坂 晃一・ 春美 ご夫妻

夫婦宣教師
武蔵野ステーキ
ひばりガロワード
日本札幌伝道部

松井 茂・ 文子 ご夫妻

夫婦宣教師
（2004年3月に解雇）
金山ワード
広島伝道部

松本 廣・ 好子 ご夫妻

夫婦宣教師
我孫子ステーキ
築ヶ崎ワード
日本名古屋伝道部

松本 行央・ 正子 ご夫妻

夫婦宣教師
関山ステーキ
米子ワード
日本東京南伝道部
アジア北地域から新たに召された地域幹部七十人

地元みずほ 五十嵐 長老

1949年1月、新潟県佐渡島に生まれた。北海道札幌市に育ち、1967年夏、高校生のときにパテスマを受ける。

1973年に金崎統子姉妹と結婚。翌年八戸神殿で結び再婚される。電気技術者を経て、1972年から教会教育システムの指導主務を務め、1998年に定年退職。これま
で教会では伝道主任、高等評議員、監督、副会長を務め、大学教授としての経験を持つ。2019年退職し、地域の部長として奉仕した。6人の子供と1人の孫に恵まれてい
る。好きな聖句はマタイ第6章27節「あなたがたのうち、だれが思いわずらったか
らとて、自分の寿命をわずかで延ばすことができようか。」札幌市在住。

地域幹部七十人

地元みずほ

1938年9月、福井県遠敷郡に生まれる。1964年に名古屋支部（現在の御器所ワ
ード）でパテスマを受ける。1967年、田川幸子姉妹と結婚、八戸神殿で結
び再婚される。電気技術者を経て、1972年から教会教育システムの指導主
務を務め、1998年に定年退職。これまで教会では伝道主任、高等評議員、監
督、副会長を務め、大学教授としての経験を持つ。2019年退職し、地域の部
長として奉仕した。6人の子供と1人の孫に恵まれてい
る。好きな聖句はマタイ第6章27節「あなたがたのうち、だれが思いわずらったか
らとて、自分の寿命をわずかで延ばすことができようか。」札幌市在住。

地域幹部七十人

李 蒼鴻 長老

1943年、慶尚南道桑山市に生まれる。1971年に、京畿道水原市にて改宗。1969
年に藤田正子姉妹と結婚。1972年退職し、地域の部長として奉仕した。好きな聖句は
「心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ」
「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ。」(マタイ22:37-38) 水原市在住。◆

ブリガム・ヤング大学教授、日本の財界人に仕事と家庭の調和を説く

来年の11月1日から15日まで、ブリガム・ヤング大学プロボス・家庭・家
庭・社会科学部副学部長に在籍のブリガム大学教授であるジェームズ・M・ハーバー教授が来
日した。ハーバー教授は13日、「仕事と生活のバランス」をテーマに在日米国商工会
議所で開かれた日米財界人対象のシンポジウムに出席した。パネラーとして、来日
聖徒はハーバー教授のほか、東京スタジオ銀行頭取のタッド・バッジ兄弟も登壇した。

日本側からは厚生労働省の製造販売・小売分野課の田村公平課長が出席した。

ハーバー教授はその講演の中で、仕事と私生活の関係について、単に相反するものパ
ランス取るという関係ではなく、互いに
調和（Harmonize）しようべきものだ、と
述べた。音楽やインドやテンボが調和し
共鳴し合う美しい音楽が奏でられるよ
うに、父親・夫・または職業人といったそれぞれ
の役割すべてが大切な人生の要素であ
って、それを調和し共鳴することで生活
全体が高められ、結果的に生産性も向上し
る、という。それに、発表したITの
活用によるパーセルアイルドや在宅勤
務・フレックスタイムなどの導入によって

シンポジウム会場の模様。
日本の教会公式ウェブサイトが閉めなく始動

教科書では各国別にそれぞれの言語で公式ウェブサイトの設置を進めてきた（「リーナナ」2003年11月号、126参照）。いよいよこの6月末より日本向けの公式な地元ウェブサイトが開設される。

当面の英文の公式ホームページの翻訳が中心となるが、徐々に地元向けの独自の情報を充実させていく方針である。教会員のみならず広く一般に向けて、教会についての正確かつ詳細な情報を発信する新たなメディアとなることが期待されている。

URLは公開時に発表される。

子育ての急所を乗り切る。
—初等教育から青少年へ

昨年、「神への信仰 —— 少年用・少女用」の小冊子が刊行され、
アロン神学校「神への慰めを果たす —— 女性成長するかたし」につながる一連のプログラムが整備されました。

思春期を迎えて親離れを始めるこの時期は、中学・高校進学など子供の環境が大きく変化するときもあります。

今、揺れ動く子供たちの心に福音を根付かせるため、親や指導者には何ができるのでしょうか。

子育ての現場で試行錯誤する、様々なケースをレポートします。

子供を見守る羊飼い

地域会長会はこの春、2枚のシートを準備している。それは監督/支部長がユニットの子供たち一人一人に心を配るためのチェックシートである。バプテストが受けたときから神への昇進など日課の項目

の子供たちの写真を貼る欄もあり、子供の成長時期に合わせたチャレンジが「神への信仰」「神への慰め」「個人の進歩」プログラムから書き入れられて一覧表になっている。子供が実行した項目にはチェックが記される。それぞれの時期に

子供と面接した日付を記述する欄もある。

小さい子でもしっかりと思い込まれたその1枚のシートを見ると、初等協会から青少年を卒業するまでの子供の足跡が一目で分かるようになっている。

このシートは監督室に常に掲示され、監督会・評議会や関係役員会で子供たち

にかかるも知らせられず、かつて農業中心の

社会が数十年で農業中心の社会に変化
したのです。……他人に理屈されるので

はなく、自分で自分の人生を作り、指揮
棒を握り、壮大な人生のシンフォニーを奏
でてください。』

地域会長会の提案するチェックシート

～地域会長会の提案するチェックシート

が込められているかのようなである。

青少年を担当する地域幹部七十人の

中野正之長老はこう語る。「ユニット

によっては友達のつながりを作る

には人数が少ないが、だから個人

を強めなければなりません。（男の子の

場合、最終的には）宣教師に召された

ときの写真を貼るわけだから、目標は

はっきりしています。あなたがバプテスト

を受けたときからこのプログラムはスタ

ートしていて、ゴールはこだわって教えて

あげるのに

うぐす大事

と思いま

すね。』

シートには少年用、少女用

があり、縦グラフを受けるた

ために最低限必要な課題の

リストが記されている。子供

がどこまで達成したか、状

況が一目で分かる。
「お泊まり会」の試み

子育ての急所を乗り切る……初等協会から青少年へ

千葉ステーク成田ワードのセミナー・クラスは毎朝5時45分に始まる。生徒たちは部活の朝練に参加しなければならないので少しばかり早い時刻のスタートだ。「日本でいちばん早いセミナリーかもしれませんよ。」と教師の一人である田園美子女士は笑う。セミナーの時間は約2時間で終え、自宅へ復帰するのを待ちながら、自然と子供たちの生活は夜型へと朝型へと変化した。

「お泊まり会」と子供たち

ゴールデンウィークを前にして、もう一人のセミナー教師である池田和代女士宅へセミナー対象の生徒が集まり、合同のレッスンが行われた。テーマは神殿結婚。教会の標準や神殿で結婚するとの大切さが説かれ、意見が飛び交う。「どんな人と結婚したいか？」教員の質問に戸惑う子供たち。「じゃあ、どこで結婚したいか？」レッスンの写真を指さしながら「神殿」と一人が答える。純潔の大切さが何度も話題になる。

セミナーのレッスンの後は子供たちのお楽しみがある。「お泊まり会」が、子供たちを対象とする活動を行うときには様々な意見がある。楽しむべき何がいいのかはあまりません。最後に意見を述べると、「親が神代で映画館へ行くことも、大切」という理由だけでȘイトシェーヘ行くのは今は控えるようにしましたよ」と池田兄弟は反省する一幕。それぞれの家庭の考え方の中、「お泊まり会」という方法は決して間違いないだろう。それでもここに集まった親が指導者たちには、一つの芯を築き、一層動く思春期の子供たちに大切な何かを与えることができるという信念がある。

お泊まり会を通じて青少年と接してきただ池田兄弟は、集まった青少年が信仰について考えながら友情を育む姿を「神友」と表現する。「大人がいない後には子供たちだけでいられるようなことを話し合っています。その時間を大切にしています」と池田兄弟は話す。回を重ねるたびに参加する青少年のきずなは強く、青少年の年齢から卒業するときには涙を流し合う場面もあるという。

なぜ、今「お泊まり会」なのか

長男がお泊まり会に参加することが多くなると、寺崎芳夫兄弟は、お泊まり会について次のように評価している。「日曜日の時間に教会へ出席するだけでは、青少年にとって表面的なつながりしか持てないように感じます。彼らに必要なのは同じ信仰を共有する仲間です。学校の仲間と教会の仲間には違いがあります。それを彼らも身自も感じています。学校の友達が一緒に過ごす時間が多く、その影響力も大きくなりません。同じように教会の友達が互いに良い影響力を持てるように関係を築ければほしいことです。わたしたち夫婦にとって、青少年のお泊まり会はとても魅力を感じる活動になっています。」

この日集まった青少年は12人。初等協会の部でも大変にわくわくしていると報告している。
親から親への談論風発

[組織性を親を超えることはできません]

第三者だからこそ子供の本音を聞く場合もあります。子供が危険信号を発している。
と教師や指導者が感じていても、考え出さないことがあります。気軽に留められるか、子供が危険を思い出すか、学校の友達の意見を確認することが必要です。子供の教育は親だけではなくて、教師と協力して、子供が危険を思い出すことが必要です。子供の本音を聞くこともありません。

池田兄弟は子供たちの悩みに耳を傾けていたのかといえば、子供たちは親が悩まないのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をしていたのかといえば、工夫をていた
モンゴルは草原の国である。日本の4.1倍の広さの国土に人口は約241万人、そのうち3割がもと草村で遊牧生活を送る。雨は少なく乾燥していて、2、3か月ほどの短いがややな夏と、寒いときはマインス40度になる長冬がある。2000年1月末のあらためた日、首都ウランバートル市で学校生活を送っていたエンペ・バット・ダンバルドゥレ兄弟19歳の4人の大学生が、街で見かけた教会に入ってみようと思う立ったのはほんの好奇心からだった。

「わたしたち4人は皆違う学校で、学校間の合同イベントで会合にいたしました。当時この教会は2階建ての大きな建物を異荘する教会の形に改築したものです。ウランバートルの町内、ドアも建物もごくふさわりような教会です。キリスト教かな、じゃあちょっと行ってみようか、と勢いにまかせて入ったんです。一人から二人だったら入ったかどうか……」

それは週末で、祭りの扉を押して入るとバプテスト会が行われていた。集めていた会員や宣教師たちは彼らを温かく迎えてくれた。当時もなく、モンゴルの教会では一般に週に2回、定規にバプテスト会が開かれ、者々と成長を遂げている。しかしモンゴルの法律では、宣教師は戸別訪問や街頭伝道をすることが認められていない。したがってバプテスト会を受ける人の全員が、教会に住む若者たちに、あるいは会員の紹介によって福音を伝えられた友人や家族である。つまりモンゴルでは伝道を進めるのは会員であって、宣教師の役割は純粋に教え、証言することなのである。そのことがかえってモンゴルの教会の発展の基盤を強固なものとっている。

4人の学生たちは2組に分かれて福音を学ぶことがになった。「今日こういうことを学んだ。そのときどこかかい、今度はこうしてみたろう……など、一つ一つの過程が続く度に友達4人で集まり、この教会の教義のすばらしさ、自分たちの感じたことを話し合い、チャレンジし合い、お互いに強め合い、そこから4人の関係はもっと強くなり、頑張ってこの教会についてしっかり学んだとこう」と皆で約束しました。レッスンは3週間半で終わり、2000年2月26日、皆でバプテスト会を受けました。それが始点ではないかった。2か月後に、ダンバルドゥレ兄弟は下から2番目の妹にバプテスト会を施し、7か月後、当初反対していた母親も「主の御意によって」改宗した。友達の2人の妹と一人の兄弟も改宗した。4人の中間はイスラムティチューで週4回一緒に出席し、四大聖典のコースを平行して履修して1年間ですべて卒業してしまい、同時に伝道に出たのである。ダンバルドゥレ兄弟は日本へ、ほかの3人は合衆国テキサス州へ召され、勤めてプロボの宣教師訓練セント（MTC）に出席した。MTCにいる間にダンバルドゥレ長老を含む衆の妹が改宗したことを知らされた。

最初に出席したのは岩手郡盛岡市だった。12月の盛岡はダンバルドゥレ長老にとって夏の訪れがなく、雨が降って来て寒いのに寒いと友人巣されたという。ましてや夏は……暑いときに暑く、寒いときに寒く、雨の日には雨に打たれ、たくさんの長い時間歩いて靴底が乾き、血がおったまでの歩き続け……わたしの信仰をはかにする老人に追いかけられ……求道者を答え得天って得られるほど謙虚になれないのを見て泣きました。テキサスで伝道中の友達にいつも手紙を書いて励まし合った。

「人に自分の学んだことができた福音を話し、証するほどの力、主を近くに感じて、家族についてもっと知ることができ、学んだことが少なくなくてまだなかったと覺得しても、今日一日学んだことだけに話をすれば、人とも成長し方も相手か何かを互いに学ぶことができるのでですね。お互いに、日本の人も友達や家族に自分の学んだことを伝えることを直接語れば、あるいは手紙などで伝えれば、必ず福音のを取り持ることができるとは思い込んでいる。」

2003年3月、ダンバルドゥレ兄弟は故国モンゴルへ帰郷し、懐かしい3人の仲間と再会して伝道中の経験を互いに語り合った。「アラムさんは自分の仲間に会えたことで和だとたかたく感じた。しかし彼らがおもむろにあって兄弟であっただけで、その喜びはいっそう深かった」(アラム17:18)。

田淵家の子供は、悩みを父親に相談せずに池田兄弟に相談していた時期があったという。「中にはそのような状況にショックを受ける人がいるかもしれませんが」と田淵は兄弟に予想する。「しかし、わが個人としては非常に助けられた」と感謝した。自分では晴れなかった部分を教師のサポートによってカバーできたわけではない。そのようなことを助かったと感じる人もいれば、親のプライドが傷つけられたと感じる人もいることでしょう。しかし大切なのは、子供が悩んだときに相談すべき相手が教会の中に何人いるかということ。「自分の子供が指導者に相談してもらえば、親のほかにも相談できる相手がいるのだということがむしろほっとします。」

岩橋兄弟は「自分の子人に言いたくないことの方がむしろ多いのではないでしょうか」と青少年の心境を代弁する。「青少年のとき自分のほうとうの気持ちを話す機会がなかったという人がいます。そうした感情を表現する場を与えてあげるのは大切なことです。青少年の子供たちは、おもしまる会のような活動でそれを表現することができるのならば、それだけでも青少年の精神面の負担は軽くなり良い影響があると思います。」

リハテク／2004年6月号
親から親への談論風発3

【じゃあ、いいよ。】

子供は親にいろいろな要求をしますよね。「友達も持っているから欲しい」、「自由意志があるから行う権利がある」、「勉強が忙しいのでセミナーは行けない」、「部活があるので日取りは守れない」。もっともらしい子供の意見に頷き、親子関係が崩れることを懸念して「じゃあ、いいよ」と簡単に認めてしまうこともあります。どうして親がそんなに簡単に気を落とすことかと心配する青少年の教師や指導者もいます。「じゃあ、いいよ」は青少年にほんとうに良い結果をもたらすのでしょうか。

馬鈴薯は自分の子供の表情や態度を見てそれを実感するという。

「お泊まり会では、特に何かをすることもなく、リラックスしてもらっています。よしと間違いないがなければ指摘することもありますが、何か考えようと思ったらこのお泊まり会は長続きしなかったと思います」と池田香細さんが言う。子供が本来の自分でいる場所、価値観を同じくする仲間と一緒になって安心できる場所があることは子供の情熱を安定させる。親ゆくに会話をしなかった子が、お泊まり会に参加して明るくなったり、話すようになったしたり例もあるという。「お泊まり会には、子供が子供に対して親に向き合うように、子供が普通感じているストレスの支え抜きをする場としての役割もあります。」

親同士の話

岩塚香細子にとっては「親同士の交流も必要」であり価値あるものだった。「青少年だけの交流に限らず、同じ世代の子供を持つ親同士が交流すれば、共通できるものや、もっと新しい発見があると思います。」互いに共通の悩みを話し合ったり、良い経験を交換し合うのは大切なことでもあると思います。田村こ夫妻が取った方法は、親が自分たちで築いて伝えたいことがあった。「子供に向き合い、『驚めない』話がある。二度は言わないから心して聞きなさい」と切り出し、そんな厳しい態度が必要なときもあります。親が真剣になれば子供は必ず耳を傾けてくれます。「あなたのことが大切だから」という気持ちが伝われば大丈夫です。

子育ての急所を乗り切る…初等智性会から青少年へ

（性徳）大切なことですから、親が伝えるべきです。本来は家庭ですべきですが、その大事な部分を青少年の指導者や監督などに任せて、ほかの人が伝えてもかまわないことを自分たちでやろうとしていることはないでしょうか。性教育の話をして子供に「質問は？」と尋ねたなら「アンコール」と言わせた（笑）。言いにくいことを真っ正面から伝えることで、かえって子供との信頼関係が強まったということ…子育ての様々な面で親が気づいたこと、考えさせられたこと。親たちの会話はこちらからあちらへと跡を継いでいく。

今回のお泊まり会に親子で参加した竹馬兄弟は次のように結んだ。「今は善行の難しい時代です。子供たちには危機感を持っていません。しかし、親ができる限りのことを行えば世間は何かと守られると思います。あきらめないことが大切です。わたしたちは時に気をつけていたのでは、青少年の子供の態度だけでその子供の価値を測ってしまうことです。そのための結果は死ぬまで分かりません。心の底から子供と何でも話し合えるようになるまで、できる限りのことなら全部すべきです。そうなければならない子供も親もほんとうの成長はありませんから。」

親から親への談論風発4

【監督/支部長の面世は大変な助かりますね】

この子は大丈夫という子供は一人もいません。世の中の急激な価値観の変化に危機感を感じている両親も多いのです。監督・支部長の定期的な面接は、標準についての明確な指針を青少年に与えてくれる貴重な機会です。戒めのチェックをするのではなく、学校や家での様子を尋ね「一緒に頑張ろう」と言葉をかけてくれるだけでもありがたいですね。わずかな時間であっても監督・支部長との定期的な面接は「愛されている」という気持ちを子供に抱かせてくれます。
親が育つとき、子は育つ ~180度変化した子育てを振り返って～

さいたまステーク坂戸ワード 木村 研一郎・幸枝ご夫妻

「子供4人は神様からの授かりもの。と改宗する前からほ　くは妙に思っていたんです。自分は酒飲みでもちゃちゃなりな　ことをしていたと、この子たちは世の中の　役に立たない事に育てないといけないと。でもそれはやっぱりだめなん　ですね。自分が悔い改めないと子供は　育たないわけですよ。」

木村研一郎兄弟は1981年11月2日。妻　幸枝姉妹と4人の子供たちとともにパ　ラテマを受けて最初の1年目。木村家の子供たち。そして高　学年頃より。田中幸枝・ラスマン長老・後藤先生・安田先生　

プテスマの水をくぐった。研一郎兄弟は43歳。いちばん下の子が8歳になったほ　かりだった。当時、木村家族が住んでいる　のは山形県酒田市。「水も空気も、そ　れからお酒もおいしい土地でしたなあ」　と研一郎兄弟は懐かしそうに言う。

木村家に初めて宣教師が訪れたのは1979年秋、幸枝姉妹が酒田支部の英会　話に出席していたのがきっかけだった。　『はくはすごく人見知りが激しいから、初　対面の人を家に上げてまるなんてたったに　ないんだけれど、宣教師と会ったとき　になぜが上がりなさいって……。話して　いるうちに、子供がこっそり人たちは忙　しいに育ったらしいよねと直感で思った。　それで騒い気持ちで「毎週遊びにおい　で、子供の友達になってちょうだい」と招　いたんです。でもまさか（ほんとうに）毎　週来ると思わなかった……』

子供たちはすぐ宣教師が大好きにな　った。毎週水曜日は宣教師の日となり、　幸枝姉妹と子供たちは宣教師と家庭の　時間を作ることが楽しみになった。　ただし、その場になる一郎兄弟がいったこと　はあまりない。あるの前で福音の話を　するのは関西語、というのが訪問の条件　だった。「水曜日、たまに早く帰ってくると　家の中は宣教師の自転車がずらっと並　んでいるね。ああもうターンですよ。　また休みに行って。」

そんな日々が続いたある日、妻　木村　学6年生くらいだった息子とお風呂に入　って、大きくなったら何になりたい。　って聞いた。そうしたら「おおきゅうなっ　たら宣教師になりたい」といっていきなり言っ　たんでびっくりしたんです。何で？　って　聞いたら、お風呂の中につかりながらし　一っと考える考えて、「……宣教師、優　しいもん」と言ったのかなあ。それが　すごく心に響いた。4人きょうだいで男の　子は一人だったから、やっぱり男らしく　凛々しい子ではなかったからなんだろう　かな。　

改宗する前のぼくは、特にお酒なんか　入っていると、掃除そうし片付けさせないあ　あしひこしほね、自分でも嫌になるほど　口やかましかった。それは自分がそうい　うふうに育てられてきたからです。そうす　るものだと思っていましたね。そんな　やり方でおかつ宣教師のような人を　育てるにはどうしたらいいか、そのことす　ろが分からないわけではない。単なる自分　の経験から来る、非常に曖昧な価値観　しかないわけでしょう。」研一郎兄弟　の心は徐々に開かれつつあった。

---

木村家の子供たちの成長ぶりが示された　スクール。
1週間目の晩に仕事から帰ってきたら、「よく頑張ったね」って妹姉が冷蔵庫にビールを冷やしておいてくれた（笑）。」そのとき「絶対飲むと思っていた」という皆妹姉に「いらん」と答え、以来ㄅぴとと断酒した。「あのとき宣教師に電話をかけ、1週間頑張ったよ、もうお酒やめてかなれ、と言って笑ったら宣教師が電話の中でわんわん泣いてね。」それから2週間後に改心した。そうしたら子供たちは、特に一番上の由佳がたってそう喜んで、ぼくがお酒飲んで霞回っていたのを思春期の彼女は見ていたからね。

「子供たちは教員がいないお父さんと教員のお父さん（間方）がいるから」ことと妹姉妹は笑う。「以前は（夫婦）でよくけんかもするし家族じゃない人がだった。それが改編してからはもうほとんどがけんかったことなかどですね。子供たちもそのお父さんの変化を目の当たりにしているから、やっぱり教会から離れなかったんじゃないでしょうか。」「反面教師。」「もうそれで子育てはおしまいだ（笑）。」

教会が子供たちを育てた

「その後の子育てはもう指導者に言われたことをそのとおりにやった、それでも」と一人兄弟はあっさりと言った。「しかしそれだけを実践したことにはそれだけの説得力がある。」

「ぼくは34歳で改宗でしょ。だから教員のあらゆる戒めや教えが、砂漠に水がしみ込むように、インクが吸い取り紙に吸われるように何でも新鮮に入ってきたわけですね。父親の神畑回収をしないと言われたそのとおり真剣にやったし、キーボード長男が「勉強よりもセミナーを優先しない」と言えるまで説教したら、ぼくはもう子供たちがどんなに部活で疲れていようが試験勉強で疲れていようが心を鬼にして早朝から起きして、送り出す

あるいは自分が連れて行きまし。そうしないといけないもののではなくはもう思

っていったから。家族の恥をしないと

言わさって、日曜日はできなかったので

d日曜日の晩、教会から帰って家族の恥

を開きました。」

改宗から1年後の1982年10月31日、木

村家族は研究部の故郷である京都

へ転居した。当時の洛北ワード（現在の

下鴨ワード）には在籍している大学生の

会員が多かった。彼らを夫妻が食事に

招いたり子供たちが呼んでいたので、木村家

はほとんどで学生のたちの場のようにな

っていた。「しっかり教会員が出入り

してて、当時、深くは考えていなかった

けど、今思うとそれが子供たちに良い

影響を与えたのかな」と妹姉妹は振り

返る。学生たちは子供たちと親しく

なり、次々に伝道へ出ていった。

長女の由佳姉妹は高校に進学すると

ソフトボール部のキャプテンに選ばれ、

日曜日は練習でほとんど教会へ行けなくな

った。けれども、「練習終わって日曜日

帰ってくると、若い女性や若い男性の会

長さんたちがよく家に遊びに来ていて、

会長さんも入れてみんなで家族の

恥をしました。子供たちが日曜学

校でどんなこと学んだか話し合って、

皆で話をして、由佳もよく聞いて。

それに熱心な監督が1年くらい、毎朝由

佳をセミナーに迎えに来てくれた。

もうほとんど感謝してるね、あのとき

・ワードの指導者に。」それは由佳姉妹に

とって教会の出頭のようなものだった。

家に来る会員たちと親しかったので、時々教会へ行ったときにもあま

り雑念を感じることはなかった。

「たまにクラブが休みで教会に行くと、

監督が、もう由佳を大切に抱きかかえる

ようにして面接してくれましたね。何

だから皆が、われわれ改宗者の家族を包

み込むように育ててくれという気がし

ます。あの当時京都の会員一人一人

が、ありがたかったね。そのとき受け

た思、次の世代を育てなければという思

いが今、ぼくが教会で奉仕する原動力に

なっています。

……その後、由佳が伝道に行くときに、

家族の恥でみんなが泣けてきたこと

を聞いてほんとうに自分は救われた、み

たいなことを言っていた。」

口うらすべく説教しても子供は育たない、

とも研究部兄弟は思う。「ぼくは改宗して

から、子供にあしほうこういというのは

ほとんど言わなくなってしまったね。……

だからぼくは4人の子供たちに伝道に行

きなきゃいけないのは、一切言わなかった。それ

dでも4人の子供たちは、だれに言われる

とも自分たちから伝道に行き、全員が神

殿で結婚した。

父親の神畑面接

京都に移って間もなく、研究部兄弟は

神畑でこんな経験談を聞く。

——教員の家族で育った子供があ

るとき、高価なおもちゃで遊んでいた。
この町に未日聖徒

 ряд

ウッカナ＝カーリングで親睦を深める日本最北端の支部

旭川ステーク稚内支部

ア

イヌ語で「ヤム・ウッカ・ナイ」
（冷たい氷の満き出る沢）と語源とする北海道の稚内市は、東にオホーツク海が広がり、宗谷岬から43km北にはサハリン（旧樺太）が位置する国境の街だ。西側のノショップ岬から

日本海沿いを南下する海岸線は、利尻、礼文の島を望み、沈む夕日の美しさも有名である。北緯45度の稚内市には、日本最北端の支部に集まる未日聖徒たちがいる。

冬を迎えると稚内支部では恒例の活動が行われる。おそらく、日本国内の他

の地区の支部ではあまり見かけるない風景かもしれない。防寒具に身を包み、氷が

溶けるのを防ぐためにマイナス5度に保たれた冷蔵庫のような室内に稚内支部の

会員が集まり始める。張りつめたような空気の中で祈りがささげられる。そして、

会員の親睦を深める恒例の活動、「カーリング」が開始されるのである。

カーリングは氷上のチェスとも言われる

奥深いスポーツだ。約40m先に描かれた円の中

に20キロもある丸い石を

ストーン

を氷上で移すのは

容易ではない。まわりのようす

押すように注意をつけて滑らせる。
専任宣教師
2004年2月(288期生) 10人・海外3人
宇野祐子
名古屋伝道部
福田ステーク
福岡ワード
カマチョ、ケネス
東京伝道部
所沢ステーク
所沢東ワード
高橋健司
名古屋伝道部
神戸ステーク
兵庫西ワード
中谷愛莉
札幌伝道部
札幌ステーク
札幌ワード
渡邉世詩加
仙台伝道部
横手ステーク
川崎ワード
土屋伸介
東京伝道部
日立ステーク
日立東ワード
斎藤隆依
札幌伝道部
札幌ステーク
札幌西ワード
作野由紀子
宇部
ソルトトレーニング
チーム
チームリーダー
伊勢立て前

役員の異動
2004年3月13日から2004年5月までに管理本部会員統計記録課に通知のあった役員の異動（敬称略）

○郡山地方部

支部長：山田 康

○仙台ステーク

長嶺会長

監督：藤村 康男

○鹿児島地方部

支部長：Bennion, Aron Vance

○日本長野部

ステーク長：安井 洋

○盛岡地方部

支部長：藤村 信吾

○我孫子ステーク

牛久第一ワード

監督：戸口 基宣

○高松地方部

支部長：大村 美智男

○奈良地方部

支部長：金城 時男

○新潟地方部

支部長：濱田 忠男

○鹿児島地方部

支部長：阪本 信彦

○熊本ステーク

清水ワード

監督：池田 秋治

○さいたまステーク

越谷ワード

監督：鶴田 豊孝

○旭川ステーク

岩見沢支部

支部長：高橋 保夫

○アジア北地域

地域幹部七人：Lee, Yong Hwan

○アジア南地域

地域幹部七人：尾田 俊

※安田氏は在地の旭川第二ワードにおいて、週に32時間以上が勤務する専任の
婦宣教師として在宅で召し受けております。

皆さんのでん情報をご提供ください

◎見目聖徒イエス・キリスト教会
『リアホナ』編集室
〒106-0047 東京都港区南麻布5-10-30
TEL03(3440)2666 FAX03(3440)3275
電子メール: Liahona-jp@ldschurch.org

◎国際機関誌『リアホナ』の届け
その他商品に関するお問い合わせは——
教会配送センター
TEL03(5668)3391 FAX03(5668)3392

リアホナ／2004年6月号
20